

まるがめの環境

平成 17 年版（平成 16 年度報告）

丸亀市生活環境部環境課

～掲載内容について～

平成 17 年 3 月 22 日に一市二町が合併し「新丸亀市」となりました。

「まるがめの環境 平成 17 年版（平成 16 年度報告）」は、合併前の一市二町が測定した平成 16 年度のデータ等を取りまとめ、掲載したものであり、本文中に出てまいります「丸亀市環境基本条例」「丸亀市環境基本計画」及び「丸亀市環境保全率先実行計画」は、旧丸亀市のものであることをお断りしておきます。

なお、新市における「丸亀市環境基本条例」は平成 17 年 3 月に制定しております。

また、新「丸亀市環境基本計画」は、平成 17・18 年度で策定を予定しており、新「丸亀市環境保全率先実行計画」は、平成 18 年度を基準年度とし、平成 19 年度に計画策定の予定であります。

はじめに

本市では、平成8年3月に「丸亀市環境基本条例」を制定するとともに、本市の環境行政を総合的かつ計画的に推進するため、平成11年4月に「丸亀市環境基本計画」を策定しました。

「まるがめの環境」は、この基本計画の施策体系にそって、本市の環境保全への取り組みや公害の現状などについて報告するものであり、構成については、本市の自然環境や生活環境、施策の推進状況などを明らかにし、基本計画の目指すべき環境像である「身近な自然と生活から育む『ふるさと田園都市丸亀』」の実現に向け、様々な施策に力を注げるようまとめております。

この本をご覧になり、本市の自然環境や生活環境について、ご理解を深めていただくとともに、本市の快適な環境づくりに役立てていただければ幸いです。

もくじ

・わたしたちを取り巻く環境	1
1-1 身近な自然と風景	2
1-1-1 金倉川の自然と生物	2
1-1-2 丸亀の野鳥	4
1-2 丸亀市の概要	6
1-2-1 地勢	6
1-2-2 気象	7
1-2-3 水系	7
1-2-4 産業	8
1-2-5 交通	8
1-3 丸亀市環境基本計画	9
1-3-1 丸亀市環境基本計画	9
1-3-2 計画の目的	9
1-3-3 基本的視点	9
1-3-4 計画の対象	10
1-3-5 計画の期間	10
1-3-6 望ましい環境像	10
1-3-7 環境施策体系	11
1-3-8 基本計画の目標と達成状況	12
・きれいな水や空気に囲まれた、静かで健康に暮らせるまち	15
2-1 魚のすめるきれいな川を取り戻す	16
2-1-1 汚濁物質の削減対策	17
2-1-2 水質の調査・排出源の監視	19
2-2 星のかがやくさわやかな空気の確保	24
2-2-1 大気質の調査・排出源の監視	25
2-3 木の葉のふれあう音が聞こえる音風景の確保	31

2-3-1 騒音・振動の調査	32
2-3-2 発生源対策	33
2-4 化学物質による汚染・その他の公害の防止	34
2-4-1 人の健康や生き物を守るために	34
2-4-2 生活環境の保全に向けて	36
. うるおいとやすらぎのある美しいまち	37
3-1 ポイ捨て、不法投棄のない清潔で美しい街の形成	38
3-1-1 環境美化活動の推進	38
. 豊かな自然と身近にふれあえるまち	43
4-1 野生生物の生息・生育空間の確保	44
4-1-1 樹林・田園の保全	44
4-1-2 水辺の保全	47
4-2 自然の一員・丸亀市民の育成	49
4-2-1 生き物とふれあえる活動の展開	49
. モノ、エネルギー、そして水を大切に使い、環境に負担をかけないまち	50
5-1 循環型社会への挑戦	51
5-2 環境にやさしいライフスタイルの定着	52
5-2-1 ごみの排出抑制と適正な処理	52
5-3 クリントピア丸亀発・地球環境の保全	53
5-3-1 地球環境を守っていくために	53
5-3-2 省エネルギーの推進と新エネルギーの活用	54
. 地球環境や子どもたちの未来を大切にするまち.....	55
6-1 丸亀市環境保全率先実行計画	56
6-2 住宅用太陽光発電システム設置費補助制度	59
. 市民・事業者・市がともに考え、ともに取り組むまち	60
7-1 市民・事業所・市が協働できる体制づくり	61
7-1-1 環境にやさしい事業所登録制度	61
7-1-2 市民参加による環境保全活動の推進	68
. 環境配慮指針	70
8-1 市民の行動指針	70
8-2 事業者の行動指針	71
用語の解説	73

わたしたちを取り巻く環境

今日の私たちの豊かさは、大量生産、大量流通、大量消費、大量廃棄という社会構造や生活様式に支えられています。しかし、このような私たちの生活の営みは、自動車の排気ガスによる大気汚染や生活排水による川やため池の汚濁、また、廃棄物の増加や身近な自然の減少など環境汚染の原因となっています。そして、このような環境問題は人類の生存基盤である地球環境にも重大な影響を及ぼしています。

そこで、全ての人々の自主的な参加と協調により、多様な自然、生物と人が共生できる快適な環境を守り、創り、育て、健全で恵み豊かな環境を享受できる、やさしい風土に包まれた「ふるさと田園都市丸亀」の実現を目指すため、平成8年3月「丸亀市環境基本条例」を制定しました。

また、平成11年4月には「丸亀市環境基本条例」に基づき「丸亀市環境基本計画」を策定し、今後この基本計画の目指す「身近な自然と生活から育む『ふるさと田園都市丸亀』」の実現に向けて様々な施策を進めています。

丸亀市環境基本条例の基本理念

1. 快適な環境の保全および創造は、健全で恵み豊かな環境がすべての市民の健康で文化的な生活に欠くことのできないものであることを考慮し、これを将来にわたって維持・向上させ、かつ、現在および将来の市民がこの恵沢を享受することができるように積極的に推進されなければならない。
2. 快適な環境の保全および創造は、環境への負荷が少なく、持続的に発展することができる都市の実現を目的として、すべての者の公平な役割分担の下に自主的かつ積極的に行われなければならない。
3. 地球環境の保全が人類共通の課題であるとともに市民の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、すべての者は、これを自らの問題としてとらえ、快適な環境の保全および創造に積極的に貢献しなければならない。

1 - 1 身近な自然と風景

1-1-1 金倉川の自然と生物

1. ふれあい環境探検隊（水辺の教室）

平成 16 年 7 月 23 日に市内の小学生と保護者約 50 人が、金倉川、西汐入川の水辺で、丸亀市淡水漁業組合の協力を得て、水生生物や魚類調査を行いました。

金倉川と西汐入川で見つかった生物

指標生物調査

	種名
1	アミカ
2	コガタシマトビケラ
3	カワニナ
4	スジエビ
5	ミズムシ
6	ヒル
7	タニシ
8	エラミミズ
9	サカキガイ
10	アメリカザリガニ
11	ヤゴ
12	ヨコエビ
13	モクズガニ
14	オタマジャクシ
15	アメンボ

魚類調査

	種名
1	カマツカ
2	メダカ
3	オイカワ
4	カムルチー
5	ブルーギル
6	ブラックバス
7	ギンブナ
8	タイリクバラタナゴ
9	カワヨシノボリ
10	スジエビ



指標生物とは、川の水質を教えてください。くれる生き物のことをいいます。

まとめ

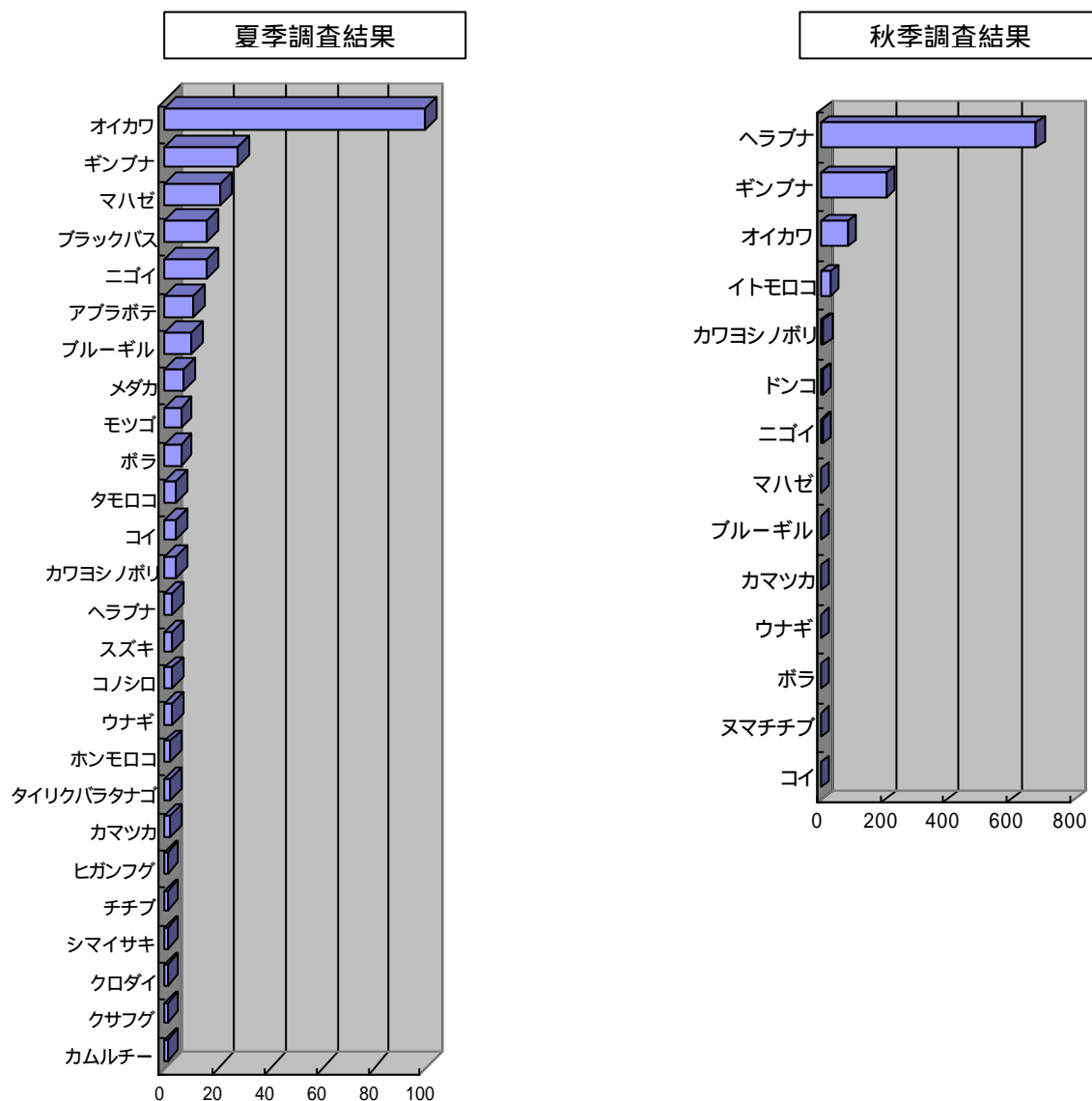
水生生物調査の結果、西汐入川では、スジエビやミズムシが確認できましたが、ヒルやタニシが多く、水質階級（きたない水）と判定されました。

金倉川では、ヒルなどきたない水にすむ生物が見つかりましたが、オオシマトビケラ、ヒラタドROMシ、スジエビなどが確認できたので水質階級（少しきたない水）と判定されました。

魚類調査ではギンブナ、オイカワなど 10 種類の魚が見つかりました。また、絶滅が心配されているメダカも見つかりました。

2. 金倉川魚介類調査

クリーン・リバー-KaNaKuRa 推進会議 (P68 参照) では、平成 16 年 7 月 23 日、9 月 18 日 (夏季調査) と平成 16 年 11 月 17 日 (秋季調査) に魚介類調査を行いました。



まとめ

夏季調査においては 26 種、秋季調査においては 14 種の魚種が確認され、合計では 29 種の魚種が確認されました。

昨年合計は 30 種で、1 種減少しました。過去の調査でよく確認されたカワムツ、コウライモロコ、タイワンドジョウ、メナダは確認できませんでした。

夏と秋の両調査において最も多く捕獲された魚種はヘラブナであり、次いでギンブナ、オイカワ・イトモロコとなっています。

ヘラブナ、ギンブナは幸橋付近で多く確認されました。また、健康橋付近、競技場大橋付近ではオイカワが多数確認されました。

環境省のレッドリスト〔絶滅危惧 類 (VU)〕に掲載されているメダカについてはすべての健康橋付近、競技場大橋付近で確認されています。

1-1-2 丸亀の野鳥

海辺や河川などの水辺に生息する鳥、飯野山や青ノ山、塩飽諸島の山野に生息する鳥、遠い国から訪れる渡り鳥など丸亀市内には様々な野鳥が生息しています。本市では毎年探鳥会を開催し、市内の野鳥を観察しています。

1. 土器川生物公園の野鳥

自然の中で生息する多くの動物や植物とふれあうことができる市内垂水町の土器川生物公園では多くの野鳥が観察できます。

平成 16 年 11 月 20 日に土器川生物公園で野鳥の観察会を行いました。

平成 16 年度は、合計で 29 種類の野鳥が観察できました。



土器川生物公園の探鳥会

土器川生物公園探鳥会 観察結果（年度）

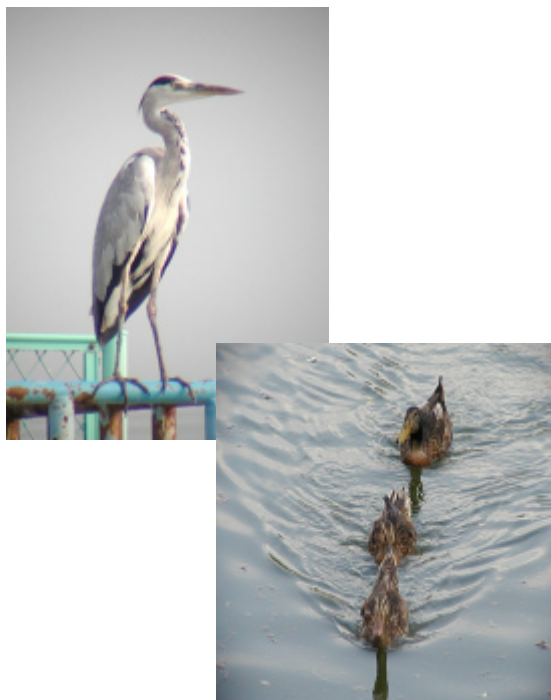
	種名	12	13	14	15	16
1	アトリ					
2	カワラヒワ					
3	シメ					
4	エナガ					
5	ハシボソガラス					
6	ハシブトガラス					
7	コガモ					
8	コゲラ					
9	コサギ					
10	アオサギ					
11	イソシギ					
12	シジュウカラ					
13	キセキレイ					
14	セグロセキレイ					
15	ハクセキレイ					
16	スズメ					
17	キジバト					
18	ハヤブサ					
19	ウグイス					
20	ジョウビタキ					
21	ツグミ					
22	ヒバリ					
23	ヒヨドリ					
24	ホオジロ					
25	カシラダカ					
26	アオジ					
27	ムクドリ					
28	メジロ					
29	モズ					
30	タカ					
31	トビ					
32	クイナ					
33	ヤマガラ					
34	カワセミ					
35	ミヤマホオジロ					
36	ハイタカ					
37	ミサゴ					
38	カワウ					
39	カルガモ					
40	マガモ					
41	アリスイ					
42	ノビタキ					
43	セッカ					
44	シロハラ					
	合計	23種	27種	30種	28種	29種

2. 宮池（川古池）の野鳥

丸亀のため池にはたくさんの野鳥が生息しています。

平成 17 年 2 月 19 日に宮池（川古池）で「冬のため池探検隊」を開催し、野鳥の観察会を行いました

平成 16 年度は、合計で 32 種類の野鳥が観察できました。



宮池での探鳥会

宮池探鳥会 観察結果

	種 名	13年度	14年度	15年度	16年度
1	カイツブリ				
2	ハシボソガラス				
3	ハシブトガラス				
4	マガモ				
5	カルガモ				
6	コガモ				
7	オカヨシガモ				
8	ヒドリガモ				
9	オナガガモ				
10	ハシビロガモ				
11	ホシハジロ				
12	キンクロハジロ				
13	ミコアイサ				
14	オオバン				
15	アオサギ				
16	イソシギ				
17	ハクセキレイ				
18	セグロセキレイ				
19	タヒバリ				
20	スズメ				
21	キジバト				
22	ツグミ				
23	ウグイス				
24	ヒヨドリ				
25	ムクドリ				
26	トビ				
27	カワラヒワ				
28	コゲラ				
29	ゴイサギ				
30	ダイサギ				
31	コサギ				
32	シジュウカラ				
33	キセキレイ				
34	ホオジロ				
35	メジロ				
36	ミヤマガラス				
37	ヒバリ				
38	ミサゴ				
39	チョウゲンボウ				
40	カワウ				
41	ユリカモメ				
42	イカル				
43	モズ				
	合 計	26 種	30 種	32 種	32 種

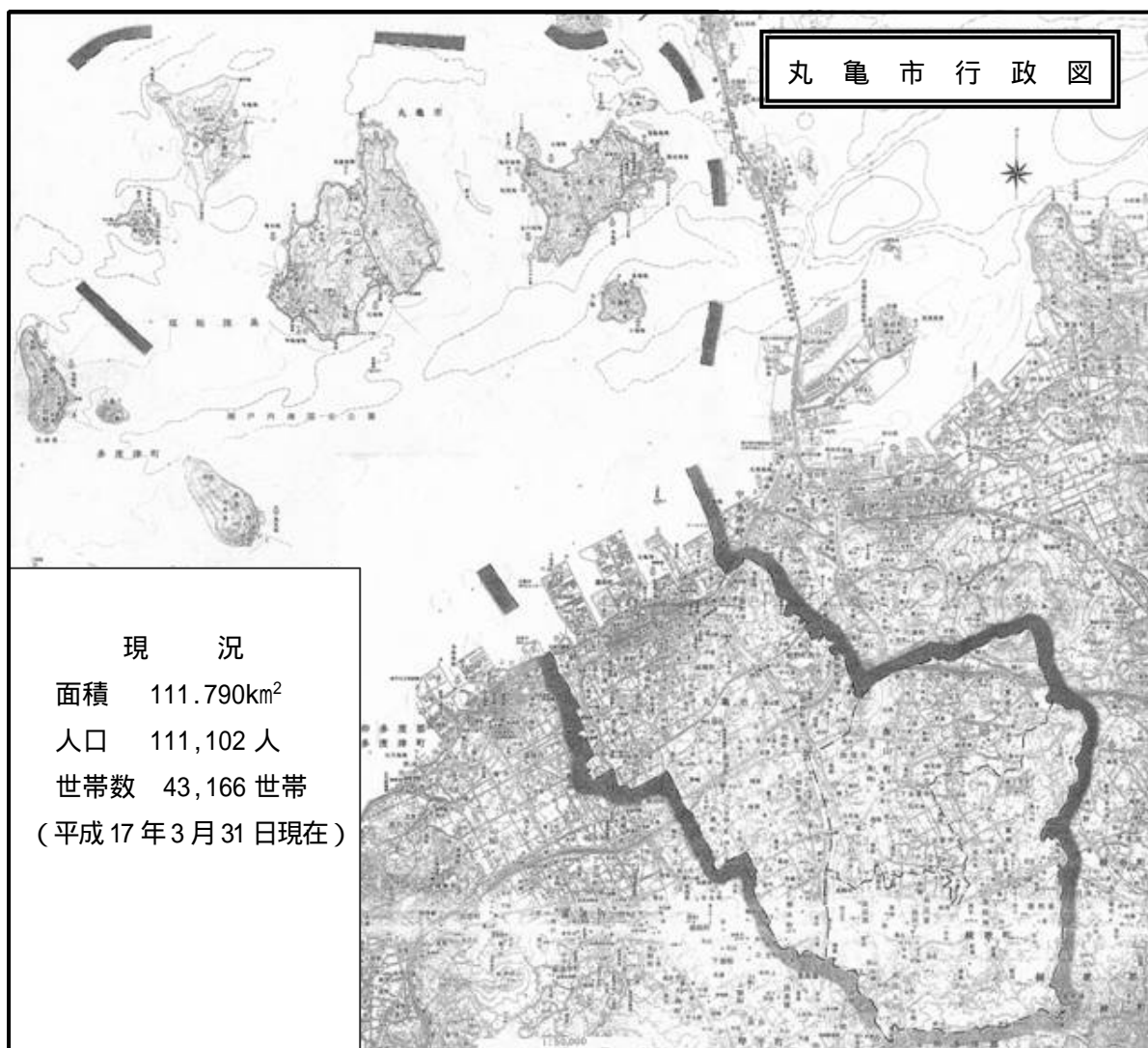
1 - 2 丸亀市の概要

1-2-1 地 勢

丸亀市は、香川県のほぼ中央に位置し、昭和 63 年に開通した瀬戸大橋から西へ約 5 km のところにあります。陸地部は、その姿から讃岐富士と呼ばれる飯野山、その北側に青ノ山があり、市の最南端にあたる大高見峰、猫山、城山から北に緩やかな勾配を有する平坦地となっていて、丸亀城のある亀山と双子山が平野部に変化を与えています。海岸沿いには埋立地が広がり、北に瀬戸内海を望み、本島、広島を中心とした大小 11 島を数える塩飽諸島があります。

本市の土地利用は、陸地部分の多くを農地が占めており、山林のほとんどは、市南端地域及び塩飽諸島にあります。

一方、中心市街地には商業地、その周辺に宅地が広がり、海岸の埋立地は工業用地となっており、近年の傾向としては、南部地域における宅地開発が進み、水田を中心とする農地の割合が減少しています。

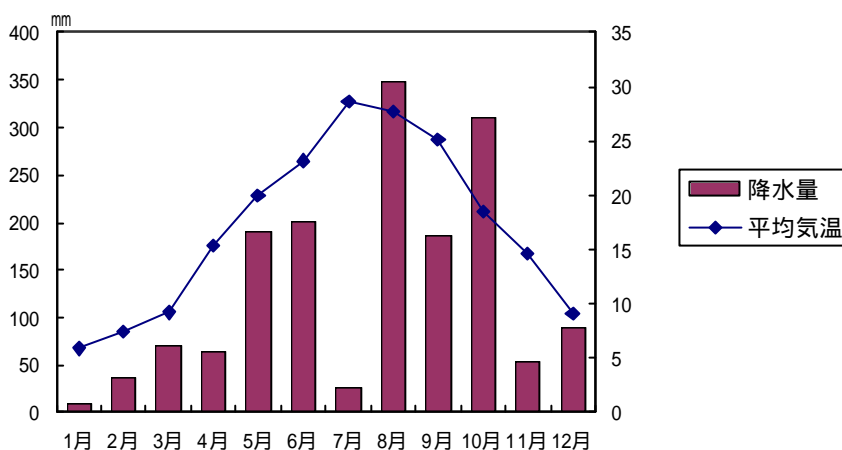


1-2-2 気 象

丸亀市は、典型的な瀬戸内海型気候で、降水量が少なく、比較的温暖で日照時間が長いという特徴を持っています。

多度津特別地域気象観測所（北緯 34 度 16 分、東経 133 度 45 分）での平成 16 年の平均気温は 17.1 、平均湿度は 64%、年間降水量は 1,585mm となっています。降水量は全国平均と比較すると低い値となっています。

気象の概要（平成 16 年）



1-2-3 水 系

1 . ため池

地理的に降水量が少なく、常に水不足に悩まされてきたことから、丸亀市内は、主に農業用水として、多数のため池がつくられてきました。

平成 16 年度の調査によると、その数は 68 カ所で、総貯水量は約 389 万 m^3 となっています。なお、新丸亀市においては 504 カ所、1,106 m^3 となっています。

2 . 河 川

丸亀市内を流れる河川は、いずれも流域面積が小さく、流量が少なくなっています。

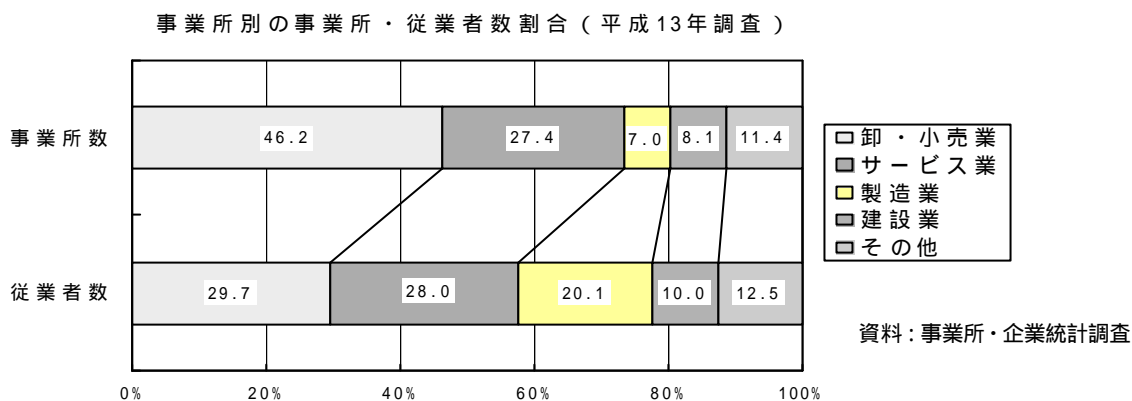
主な河川としては、市の中央を流れる一級河川である土器川とその水系に属する清水川、古子川、赤山川があります。

また、西部を流れる二級河川の西汐入川、金倉川およびその水系に属する中津川、東部には大束川及びその水系に属する中大束川、東大束川などがあります。

1-2-4 産 業

国勢調査における就業人口の割合で産業全体を見ると、第3次産業が最も多く、就業人口の半数以上を占めており、その割合は増加傾向にあります。

丸亀市内の事業所を見ると、従業者数は増加していますが、事業所数は減少しています。また、事業所の内訳は、卸・小売業が事業所の半数近くを占めており、従業者数でも1番多くなっています。従業者数に関しては、第2次産業が盛んである丸亀市においてもサービス業に従事する人が製造業より多くなっています。



1-2-5 交 通

1. 道路網

丸亀市の主要な幹線道路としては東西方向では、中央部に国道11号、臨海部にさぬき浜街道があります。また、市街地中心部を通る主要地方道高松丸亀線（県道）があります。

国道11号は、高松自動車道と並行している道路で、西は愛媛県松山市、東は徳島県徳島市とを結び、四国を半周する幹線道路となっています。

市の南部を通過する国道32号線は、高知県高知市と高松市を結ぶ幹線道路として、バイパスの整備が進んでいます。

2. 公共交通網

鉄道は、市街地を東西に走るJR予讃線があり、市内にある駅として、丸亀駅と讃岐塩屋駅があります。また、南部には私鉄琴平線が通り、岡田駅と栗熊駅があります。

バスについては、平成9年10月1日より丸亀コミュニティバスを丸亀駅や丸亀通町を起終点として東線、西線、南線の3路線により運行開始しました。合併により旧飯山町地域でも運行を開始し、旧綾歌町のコミュニティバスとあわせ、市内各地域を循環しています。また、島しょ部については、本島コミュニティバスを平成12年10月より運行しています。

海路については、丸亀港を中心に、島しょ部や岡山方面への航路が運行されています。

1 - 3 丸亀市環境基本計画

1-3-1 丸亀市環境基本計画

全ての人々の自主的な参加と協調により、多様な自然、生物と人が共に生きる快適な環境を守り、創り、育て、健全で恵み豊かな環境を享受できる、やさしい風土にまつまれた「ふるさと田園都市丸亀」の実現を目指すため、平成8年3月「丸亀市環境基本条例」を制定しました。

丸亀市環境基本計画は、丸亀市環境基本条例の理念を具体化し、環境の保全と創造に関する施策を長期的な視野に立ち、総合的、体系的に推進していくために策定するものです。

1-3-2 計画の目的

計画は、市における環境に関する全ての施策の基本的な方向を示すとともに、丸亀市総合計画の基本構想、基本計画と個別計画とをつなぎ、個別計画を誘導する計画として位置づけます。

丸亀市の望ましい環境像を示します。

望ましい環境像の実現に向けた環境行政施策の方針を設定し、事業内容の体系化を図ります。

市・事業者・市民による取り組みのための指針とします。

市民・事業者との連携のあり方を示します。

丸亀市総合計画のまちづくりの目標を、環境面から方向を示します。

1-3-3 基本的視点

計画の推進にあたっては、市民、事業者の理解と協力がなければ実効性が保てません。そして、計画は丸亀市の環境の実態や、市域の実状に合ったものとしします。

丸亀市らしい、歴史・文化を尊重します。

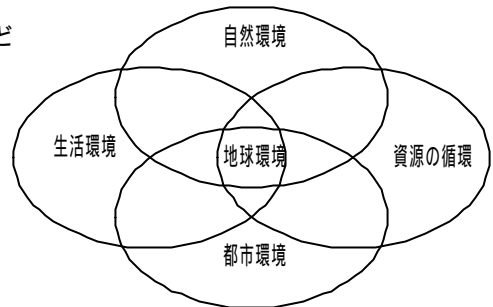
市民、事業者、市など、環境に関わる全ての人のパートナーシップを築きます。

市民、事業者に分かりやすい計画とします。

1-3-4 計画の対象

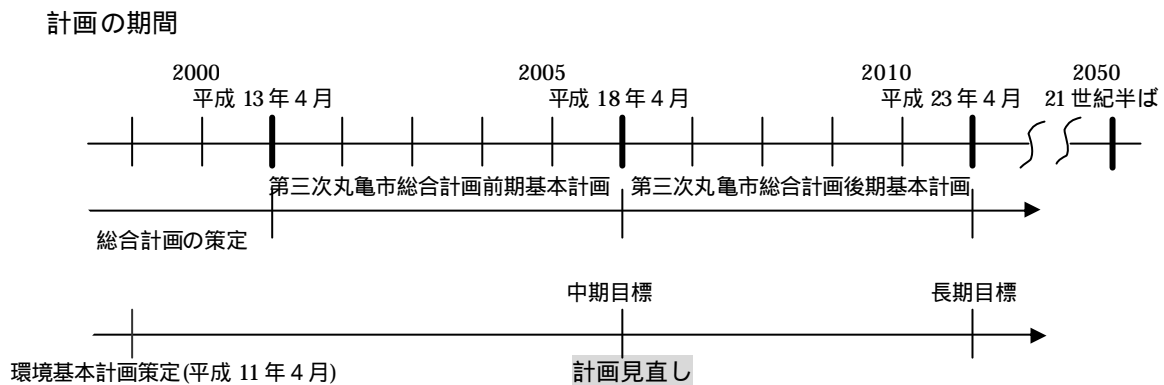
計画を構成する要素の範囲

- 生活環境...大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭、地盤沈下など
- 自然環境...動物、植物、景観、気象（気温・風）など
- 都市環境...公園、緑地、歴史・文化施設、アメニティ施設など
- 資源の循環...廃棄物、水資源、光・熱エネルギーなど
- 地球環境...地球温暖化、オゾン層、酸性雨など



1-3-5 計画の期間

基本計画における望ましい環境像や基本目標は 21 世紀半ばを展望したものとします。



1-3-6 望ましい環境像

丸亀市環境基本条例の前文に記されている「健全で恵み豊かな環境を享受できる、優しい風土につつまれたふるさと田園都市丸亀」を目指すため、

- ・身近にある自然を大切にする気持ち
- ・生活の知恵と文化を後世に伝える
- ・身近な生活レベルから始める取り組み

などの視点に配慮しながら、丸亀市環境基本計画における環境像を下のとおり示します。

身近な自然と生活から育む「ふるさと田園都市丸亀」

- 健全で恵み豊かな環境、優しい風土につつまれたふるさとづくりを目指して -

1-3-7 環境施策体系

望ましい環境像

健全で恵み豊かな環境、優しい風土につつまれたふるさとづくりを目指して
身近な自然と生活から育む「ふるさと田園都市丸亀」

1. きれいな水や空気に囲まれた、静かで健康に暮らせるまち

施策の方向	重点目標
・魚のすめるきれいな川を取り戻す	水質汚濁に係る環境基準を達成しよう
・星のかがやくさわやかな空気の確保	大気汚染に係る環境基準を達成しよう
・木の葉のふれあう音が聞こえる音風景の確保 ...	沿道における騒音の環境基準を達成しよう
・化学物質による汚染・その他の公害防止	ダイオキシン類などの化学物質による汚染を未然に防止し、安全で快適な環境を築こう

2. うるおいとやすらぎのある美しいまち

施策の方向	重点目標
・ポイ捨て、不法投棄のない清潔で美しいまち ... の形成	ポイ捨て、フンの放置、不法投棄などをやめ、散乱ごみをなくそう
・田園風景と伝統の香ただよう街なみの保全 ...	地域の特性を活かした土地利用と住み良いまちづくりを進めよう
・身近な公園・緑地の整備やため池周辺の緑化 ...	水遊びができる空間をつくろう
・緑あふれる街路の整備	歩いて楽しい交通環境にしよう

3. 豊かな自然と身近にふれあえるまち

施策の方向	重点目標
・野生生物の生息・生育空間の確保	いろいろな野鳥にあえる環境を守り育てよう
・自然の一員・丸亀市民の育成	学校教育・生涯学習で自然とふれあう機会を多く設けよう

4. モノ、エネルギー、そして水を大切に使い、環境に負担をかけないまち

施策の方向	重点目標
・環境にやさしいライフスタイルの定着	ライフスタイルを見直し、モノ、エネルギーを大切に使う
・節水や下水の再利用などの有効利用	雨水や使った水も繰り返し使うシステムの整備を進めよう

5. 地球環境や子どもたちの未来を大切にするまち

施策の方向	重点目標
・地球温暖化防止行動の推進	地球温暖化防止京都会議で決められたCO ₂ の削減量を達成しよう (1990年比で6%削減)
・クリントピア丸亀発・地球環境の保全	クリントピア丸亀における環境保全活動を広めよう

6. 市民・事業者・市がともに考え、ともに取り組むまち

施策の方向	重点目標
・市民・事業者・市が協働できる体制づくり	協働体制の確立と市民参加の促進
・情報の受発信の整備	広報活動や環境保全活動を支援する情報システムを整備しよう

1-3-8 基本計画の目標と達成状況

数値目標（15項目）

	目 標	達成時期	達成状況（率）
1	河川におけるBODの環境基準の達成を目指そう。	長期目標	平成16年度達成率（3河川4地点）3/4=75%
2	海域におけるCODの環境基準の達成を目指そう。	長期目標	平成16年度達成率（1水域9地点）4/9=44%
3	公共下水道の人口普及率60%以上を目指します。	長期目標	平成16年度末人口普及率48.9%
4	合併処理浄化槽の設置基数3,000基を目指します。	長期目標	平成16年度末設置基数2,287基
5	光化学オキシダント濃度の環境基準の達成を目指そう。	長期目標	平成16年度達成率（2測定局）0/2=0%
6	二酸化窒素の環境基準の達成を目指そう。	長期目標	平成16年度達成率（4測定局）4/4=100%
7	浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準の達成を目指そう。	長期目標	平成16年度達成率（6測定局）4/4=100%
8	幹線道路沿いの騒音環境基準の達成を目指そう。	長期目標	平成16年度達成率（道路に面する地域及び幹線道路沿いの地域-6地点）2/6=33%
9	一人当たりの公園面積23㎡を目指します。	中期目標	平成16年度 一人あたり公園面積13.07㎡
10	市の緑地率（面積比）53%を目指します。	中期目標	平成16年度 約45%（島しょ部除く）
11	レクリエーション農園・自治会農園を20箇所整備しよう。		平成16年度 ・事業に係るもの 1箇所 ・地区コミュニティ農園 3箇所
12	ごみの再資源化率16%以上を目指そう。	中期目標	平成16年度資源化率11.70%
13	一人当たりのエネルギー消費量を平成2年比で6%削減しよう。	長期目標	参考 ・平成15年度本庁舎におけるCO ₂ 排出量...205,620kg-c ・平成9年度（203,083kg-c）より4%削減...達成率95%
14	公用車の軽自動車化率を60%に高めます。	平成16年度目標	平成16年度現在66.0% （本庁舎における公用車50台のうち軽自動車33台）
15	ダイオキシン類濃度を大気環境基準以下に維持しよう。		ダイオキシン類対策特別措置法施行（H12.1.15） 大気環境基準 年平均値0.6pg-TEQ/m ³ 以下 ・丸亀市役所平成16年度年平均値0.044pg-TEQ/m ³ ・郡家小学校平成16年度年平均値0.051pg-TEQ/m ³

数値目標を定めていない努力すべき目標（29 項目）

	目 標	達成時期	達成状況（率）																											
1	アイドリングストップ運動の定着を目指そう。	短期目標	平成 16 年度に環境にやさしい事業所にアイドリングストップ推進ステッカーを配布。また、行事の時配布したり、公用車に貼り啓発運動中。																											
2	野焼きによる苦情件数を減らそう。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>野焼き（大気汚染）</th> <th>苦情総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H9</td> <td>9</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>H10</td> <td>23</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>H11</td> <td>25</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>H12</td> <td>39</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>H13</td> <td>56</td> <td>148</td> </tr> <tr> <td>H14</td> <td>43</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>23</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>15</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <p>広報紙等による野焼き自粛啓発を行っている。</p>	年度	野焼き（大気汚染）	苦情総数	H9	9	68	H10	23	59	H11	25	89	H12	39	101	H13	56	148	H14	43	154	H15	23	113	H16	15	79
年度	野焼き（大気汚染）	苦情総数																												
H9	9	68																												
H10	23	59																												
H11	25	89																												
H12	39	101																												
H13	56	148																												
H14	43	154																												
H15	23	113																												
H16	15	79																												
3	環境美化推進員制度の充実を目指します。	短期目標	「丸亀市まちをきれいにする条例」を平成 11 年 10 月 1 日に施行、条例第 14 条に基づき各地区コミュニティ単位で環境美化推進員を選任。（平成 16 年 4 月に新たに選任、任期 2 年）																											
4	地域清掃活動への市民参加率を高めよう。	短期目標	「丸亀市まちをきれいにする条例」施行にあわせて、毎月 1 日に市民一斉清掃を推進中。																											
5	都市景観形成地区の指定を図ります。	短期目標	指定に向けて地区を検討中。																											
6	歴史的町並みの保全を推進します。		笠島地区伝統的建造物群保存地区 平成 16 年度 ・文部省関係 家屋：2 ・市単独 家屋：0																											
7	地域に根ざした田園環境の保全を図ります。		休耕田を利用した花づくりを推進中。																											
8	親水空間・ため池まわりの遊歩道の整備に努めます。	中期目標	瓢池の親水空間の整備（平成 9 年度）																											
9	緑化重点地区の指定を図ります。	長期目標	検討中。																											
10	地域の個性ある道（コミュニティ道路）を検討します。		地域環境に合ったコミュニティ道路を検討中。																											
11	生活道路の整備に努めます。		生活に密着した道路の整備を進めている。																											
12	街路樹の整備を進めます。		街路事業の工事に合わせて街路樹の整備を行っている。																											
13	電線の地中化を検討します。		大手町地区電線類地中化については整備済。																											
14	野生動植物の実態調査を検討します。		検討中。																											
15	ボランティアによる森林保全活動を進めよう。		森林ミュージアム事業として青ノ山、飯野山においてコミュニティ・子ども会参加による森林整備活動を行っている。（平成 9～12 年度）																											
16	グリーンコリド-計画を検討します グリーンコリド-とは、「緑の回廊」と訳され、ビオトープネットワークを形成するための要素の一つである。		検討中。																											
17	土器川生物公園の自然科学館(仮称)の建設を推進します。		検討中。																											

	目 標	達成時期	達成状況（率）
18	環境教育や環境活動への市民参加の機会を多くつくろう。		<p>H16.6.5「ふれあい環境探検隊（自然観察会）」子どもと保護者（約30名）を対象に、土器川生物公園で、樹木や植物などの観察会を実施。</p> <p>H16.7.23「ふれあい環境探検隊（水辺の教室）」市内小学生と保護者（約50名）を対象に、西汐入川や金倉川など身近な水辺で水生生物調査や魚類調査を実施。</p> <p>H16.8.11「星空探検隊（スターウォッチング）」子どもと保護者（約65名）を対象に、土器川生物公園で、大気と環境問題を考える星空の観察会を予定。</p> <p>H16.11.20「バードウォッチング（探鳥会）」子どもと保護者（約35名）を対象に、土器川生物公園で探鳥会を実施。</p> <p>H17.2.19「冬のため池探検隊（探鳥会）」子どもと保護者（約20名）を対象に、宮池周辺（土器町）で探鳥会を実施。</p>
19	エネルギーの有効利用を図ろう。		エネルギーの有効利用を図るうえで手引きとなる「地球にやさしい暮らし」の手引きを配布。
20	一人当たりの上水道使用量を抑制しよう。		水道週間などの機会に節水を呼びかけ、啓発に努めている。
21	公共下水道の再生水の有効利用を検討します。	中期目標	丸亀市再生水利用基本計画を策定。
22	地球温暖化防止行動計画を策定します。	短期目標	平成15年1月に丸亀市環境保全率先実行計画、丸亀市グリーン購入基本方針及びガイドライン、丸亀市公共工事における環境配慮指針、丸亀市環境管理マニュアル策定。
23	丸亀市役所における環境保全率先実行計画を推進します。	短期目標	平成13年度で計画終了。平成14年度から新たに丸亀市環境保全率先実行計画を策定。
24	ウェブサイト丸亀の環境情報受発信機能を充実しよう。		平成12年4月ホームページを開設
25	パートナーシップによる推進体制を確立しよう。	短期目標	環境美化運動の推進を図るため、地区コミュニティとの協議体制の確立に努めている。
26	こどもエコクラブを育成しよう。	短期目標	平成16年度 登録数 1団体 ・飯野小学校
27	エコショップ制度の導入を検討します。	中期目標	検討中。
28	丸亀市の環境情報をホームページに掲載します。	短期目標	平成14年6月ホームページを開設し、更新中。
29	地域コミュニティに環境情報を提供し広報活動を推進します。		丸亀市きれいなまちづくり条例に基づき各地区コミュニティで意見交換会を実施。